

■■■ 政府の対応はこれでいいのか ■■■

昨年11月号に「ベトナム難民の収容問題」として吉井正明理事の訴えがあったように、犯罪を犯したベトナム人難民が刑期を終えたにも関わらず本国への強制送還ということで入管の西日本入国管理センターに収容されるケースが増えています。人数は20名を超え、6月8日から14日までハンガーストライキを行いました。日本政府は拘留したままです。

日本政府はこれまで約1万人を難民と認定し、日本での定住を受け入れてきました。これらの人々は色々な差別の中で一生懸命生きていますが、中には生活がままならず窃盗などの罪を犯し、捕まることもあります。その場合、日本の法律に基づいて処罰され刑務所に入れられます。そして、刑期を終えて社会復帰できると思ったところが、収容所に入れられ、期限が分からないまま収容されているのです。

日本政府はベトナム政府に引き取ってくれるよう交渉していると言いますが、ベトナム政府は当然受け入れを拒否しています。難民の場合は普通の外国人と違って、本国を捨てて日本に来た人たちで、日本政府はそれを認めて受け入れた訳ですから、最後まで面倒を見るのが当然です。難民条約では難民の追放・送還を禁止しています。しかも、無期限に収容することは自由権の侵害であり、このような非人道的な扱いは国際社会で許されないことは明らかです。

当事者は今年3月に入国管理局の退去強制令処分を取り消すよう裁判所に提訴しました。現在までに2回の審理が行われていますが、秋ごろには判決が下りることとされます。私たちも日本政府のこのような処置にたいして抗議し、早期に日本社会に復帰できるよう署名活動などの支援をしていきたいと考えています。

また、最近外国人の犯罪が増えているということを理由に外国人にたいする尋問が増え、その方法も異常になっています。先日もごみ収集所で拾い物をしていた外国人が呼び止められ、拾ったドライバーと鉢、鍋を持っていたと交番に連れて行かれ、さらに警察に連行され尋問を受けたあと、家宅捜査までされるという事件が起こりました。しかも、取調べ中も手錠をかけたままだったというから驚きです。

このように外国人に対して非人間的な態度をとる入管や警察を放置することはできません。どこの国の人であっても平等に、しかももっと親切に扱われるべきです。入管、警察の外国人対応に猛省を促したいと考えます。(副理事長 中村通宏)

■■■ 日本語プロジェクト ■■■**■ 個人レッスン支援者インタビュー**

今回から、支援者のみなさんへのインタビューをお届けします。第一回目は、加島恵子さんにお話を聞きました。

—今は、どんな方を支援しているんですか？

加島 この4月から、ベトナム人男性の、レー・ディン・チーさんの支援を行っています。KFCで教えるのは、これが初めてです。

—これまでに、日本語を教えた経験は？

加島 韓国からの留学生やそのお友達に、個人的に日本語を教えていました。

—それは、どういうきっかけで？

加島 私は韓国人の方から、韓国語を習っているんです。韓国語は一からのスタートだったんですが、わかり始めると旅行も楽しくて。だから、お返しという感じで、日本にいる韓国人の方に日本語を教えはじめました。

—言葉の大切さを実感されたんですね。

加島 そうなんです。逆に、日本にいて、日本語を知らないと大変でしょう？ とくに、レーさん始め、日本で働いている人は、言葉が分からないと苦労するのではと思います。

—ところで、日本語指導は、どうやって勉強されたのですか？

加島 本を読んで、独学で勉強しました。でも、もっと上手に教えられるようになりたいですね。KFCの養成講座にも興味を持っています。

韓国語を始めたときを思い出します

—レーさんにはどんな授業を？

加島 初心者なので、今は文字と、普段使うような表現を教えていますね。あいさつとか、天気など身のまわりの単語とか…。実は、初心者を教えるのは初めてなんですよ。

—じゃあ、ちょっと大変？

加島 そうですね。でも、私が韓国語を習い始めたときと、全く同じだなんて思います。

—では、楽しいところは？

加島 彼は日本語を知らないし、私はベトナム語を知らない。身振り手振りだけでコミュニケーションをしているところかな（笑）。

—（笑）なんとか通じてしまうんですね。

加島 それに、私が教えたことを覚えてくれると、やっぱりうれしい。自分の国の言葉を、外国の人が勉強してくれていると思うと、やりがいを感じますね。

—それが、支援の醍醐味のひとつですね。では、今後の目標は？

加島 会話ですね。少しでも、会話のキャッチボールができるようになるのが目標です。

—これからも、ぜひ頑張ってください。

テキスト拝見

テキストは「新日本語の基礎 I」と、レーさんのベトナム語の本を使っています。

「ゆっくり進んでいるので、今はまだ、第一課です」（加島さん）

■ニュース係より

「日本語プロジェクト・ページをもっと面白く！」と集まった、KFCニュース係の5人。楽しく、かつ役立つページにしたいといます。その第一弾として、今回から支援者の方へのインタビューをスタート。なかなか見えづらい、ほかの支援者の指導方法や人となりをご紹介していきます。「この人をインタビューして（自薦も可!）」「こんなことを聞いて」などのご要望があったらお知らせください。もちろんインタビュー以外に「こんな記事を載せてほしい」という希望も大歓迎です。連絡は、KFCニュース係か奥まで。

■研修会係より

この度研修旅行の企画を担当することになりました植野です。日本語学習支援では日ごろ皆様

方がグループレッスンやら個人レッスンで悪戦苦闘していらっしゃるものと存じますが、我々支援者は、プロの日本語教育をしておられる方の授業風景を見る機会がほとんどありません。そこで、この企画は実際、中国、ベトナム等における日本語専門学校等を訪問し、現地での日本語熱に直接触れ、また、授業風景を見学したり、学習者との交流を通じて自分たちの日本語支援に役立てようというものです。目的からすればわざわざ海外に行かなくてもということになるのですが、来日経験のない学習者にとっても実際に日本人支援者と交流することは、とてもいい刺激になりますし、日本（人）への理解がさらに深まることを期待してのものです。むろん観光も兼ねています。幸い、ベトナムであれば、かつての私の赴任先でもありますし、まして日本ベトナム友好協会の副理事長がKFCの中村副理事長とあって協力を得られやすいのではと思います。

計画については、まだ白紙の状態です。ベトナムに限ったものではありません。ネットを通じて訪問国、旅行期間、内容についてさまざまな意見をお待ちしております。

■秋祭り（支援者と学習者の交流行事）

アイデア・企画メンバー募集！（担当：行事係・奥）

■日本語ボランティア養成講座

2004年11月27日～2005年2月5日

毎週土曜日（1/1を除く）13時半～16時 全10回

講師：斎藤明子、岩槻知也、奥田順子

■日本語P研修会・連絡会

・8月お休み

・9月11日（土）13時半～

「教えるための会話チェックシート作成と活用法」

新長田勤労市民センター講習室（1）

講師：斎藤明子

■ベトナム語による日本語教室

毎土曜日18：30～20：00 KFC事務所にて。

ベトナム語がわかる先生と一緒にひらがな・カタカナ・簡単な会話を勉強するクラスです。7/3から学習者数2名で始めました。

日本語による勉強を心配だと思っている方がまわりにいらっしゃったらぜひお声をかけてあげてください。学習者募集中です！

■日本語ちょっと変？ - 前回の答 -

「先生、あした先生のうちへ来てもいいですか」 - これは英語のcomeをそのまま日本語に訳してしまった例です。

このように母語の影響で間違えてしまうことを「母語の干渉」と言います。

学習者の母語の構造や文法を知っておくと役に立ちますね。

==出題及び答え「日本語の教え方ABC」より==

■ティーパーティー

7月25日（日）14：00～

一品持ち寄りの気軽なおしゃべりパーティーをKFC事務所で行います。

どなたでも参加O.K. 一緒に楽しみましょう！

■日本語支援のための 韓国語勉強グループ

会員の方ならどなたでも参加していただけます。

1. 初級者コース （ハングルが読める、日常会話がわかる）
 - ・ 毎週土曜日19:00～20:30の週1回 ・ 場所はKFC事務所（予定）。
 - ・ 8月7日（土）開始。

2. 初心者コース

- ・ 毎週日曜日13:30～15:00の週1回 ・ 場所はKAP会議室。
- ・ 8月1日（日）開始。

- ・ ボランティア講師：操田誠さん
- ・ 協力金：1,500円/月
- ・ テキスト代：約2,000円
- ・ 定員：各5名

場所は日本語のマンツーマンレッスンが優先です。ご協力をお願いします。

■夏休み小・中学生勉強会開催 8/2（月）～6（金）午前の学習支援ボランティア募集！

■2004年10月～2005年3月 グループレッスン講師・アシスタント募集 締切8月20日（金）。詳細はお問い合わせ下さい。

■メーリングリストの参加者募集

ご希望の方はKFCにメール下さい。

■■■ KFCハナの会 ■■■

■『おばあちゃんの家』の上映会をしました

6月29日（火）ハナの会の昼食会のあとに、韓国映画『おばあちゃんの家』を観ました。

ハルモニ（おばあちゃん）たちの参加は23名、スタッフ・ボランティアが7名参加して30名での上映会となりました。

貸し切りの映画館でした。ハルモニたちはハングルと日本語のまざった言葉で「あれはこうで～～こうなった」と、隣の席の人と確認しながらストーリーを理解していたようです。割と大きいコソコソ話があちらこちらで聞こえましたが、誰もまわりに気を使うことなく、最後までおもしろおもしろに楽しむことができました。

年を重ねてくると足や腰などが痛くなったり、耳が聞こえにくくなるといった症状があらわれます。ハルモニたち同士で「映画を観に行こう」と思っても、私たちが気軽に映画館へ足を運ぶ

のとはだいぶ違って来る訳です。

電車に乗るにも、駅から目的地まで歩くのも、映画の時間を見てチケットを買うにも、いろいろ労力が必要になってきます。「そんなしんどい思いしてまで・・・」とあきらめていることは、日常の中にきっとたくさんあるでしょう。

映画はひとつの例えに過ぎませんが、“生活 を豊かに”（決して裕福という意味ではなく）過ごして欲しいなと思います。

映画の終了後「よかったぁ」と目をうるま せながら帰っていくハルモニたちの後ろ姿を見送りながら、「よし、また上映会をしよう！！」と心に決めたのでした。

(丁 由紀子)

■地域国際化を考える研修会2004

8月23日より「地域国際化を考える研修会」を開催いたします。（詳細は同封資料をご参照下さい。）

今年で4年目を迎えるこの研修会は、（財）兵庫県国際交流協会、兵庫県と当センターが主催し、兵庫県教育委員会が後援、甲南女子大学多文化共生学科の協力を頂いております。

今年度は、総論、教育コース、福祉・医療コース、相談コースに分けて開催し、より議論を深められるよう宿泊研修でコース別の総括学習も実施します。

総論では、外国人問題に長く取り組んでいらっしゃる弁護士や、ニューカマー問題に詳しい大学教員の方にお話しいただきます。

教育コースでは、日系人の多い岐阜県可児市や群馬県の太田市で調査や実践をされている方、小学校で学力保障のための授業をされており、日本語学習支援活動もされている教員の方にお越し頂きます。

福祉・医療コースでは、当事者の方、HIVなど外国人医療に取り組む医師、外国人問題への取り組みをされているNGO代表の方からお話をお伺いします。相談コースでは、実際に相談現場で活躍されている方々から現状と課題などをお話しいただき、パネルディスカッションを実施します。

兵庫県では、お話を伺う機会の少ない大変充実した講師陣による盛りだくさんの内容になっておりますので、ぜひご参加下さい。

■■■ 今後の予定 ■■■

■日本語プロジェクト学習支援者のための研修会・連絡会

9月11日（土）13:30～

「教えるための会話チェックシート作成 と活用法」

斎藤明子（神戸YWCA専門学校講師）

新長田勤労市民センター講習室（1）

■夏休み小・中学生勉強会開催

8月2日（月）～6日（金）午前

■ティーパーティ

7月25日（日）14:00～

■ホームヘルパー養成講座

3月27日（土）～9月18日（土）

■ハナの会健康体操

7月20日（火）13:00～ ピフレックスルームにて

8月31日（火）13:00～ ピフレックスルームにて

■地域国際化を考える研修会

8月23日（月）～8月27日（金）

■お盆休み

8月13日（金）～8月16日（月）

[前のページに戻る](#)